

コラム 積雪寒冷地における舗装技術検討委員会

積雪寒冷地における舗装の品質と技術的な発展および促進に向けて、産学官の構成による「積雪寒冷地における舗装技術検討委員会」(主催：国土交通省北海道開発局)が設立されており、寒地道路保全チームは、検討委員会の委員として参画し技術的助言を行うほか、室内試験や現地調査の検討結果を委員会へ提供し活用されるなど研究成果の普及に努めています(写真-1, 写真-2)。

北海道の高規格幹線道路の表層混合物に関する品質向上、コスト縮減等について委員会において検討が行われた結果「北海道型 SMA の施工の手引き(案)」がとりまとめられ当研究所ホームページに掲載されており、平成 27 年度には 2 回の委員会が開催され当チームの最新の研究成果を反映しとりまとめられた改訂版が掲載されています(図-1)。

本手引き(案)は、平成 28 年 3 月末までに 1,500 回以上ダウンロードされ、国土交通省北海道開発局の発注工事において技術資料としても活用されており、積雪寒冷地の道路舗装の品質や耐久性の向上に役立つことが期待されます。

北海道型 SMA の施工の手引き(案)の概要

北海道型 SMA とは、表面に近い部分は排水性舗装に似たテクスチャ(きめ深さ、凹凸)を有しつつ、内部は骨材間隙にフィラーとアスファルトを多く含むアスファルトモルタルが満たされた密実な構造を有する混合物であり、北海道の積雪寒冷環境下においても高い耐久性を示すと考えられます(図-2)。このような混合物をつくるためには、材料の選定、配合設計、施工の各段階において様々な留意点があり、本手引き(案)はそれら留意点を取りまとめたものです。



写真-1 積雪寒冷地における舗装技術検討委員会



写真-2 北海道型 SMA の温度測定状況

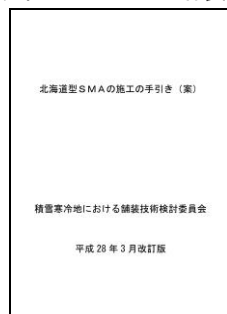


図-1 北海道型 SMA の施工の手引き(案)

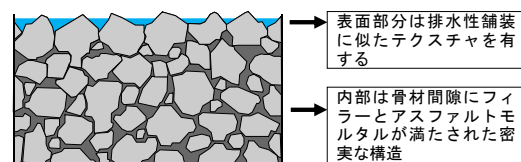


図-2 北海道型 SMA の概念図